

オープンキャンパス2017 ミニ講義 ラインアップ

8月5日 (土)

時間	学部学科	ミニ講義詳細		教員	教室
10:30 11:10	社会イノベーション学部 政策イノベーション学科	元気な企業が増える条件－ 企業論の視点からみた日本 経済	景気の足取りは鈍いですが、全国津々浦々、独自の競争力で活躍している企業は数多くあります。こうした元気な企業をどれだけ増やせるかが、今後の日本経済、ひいては私たちの生活の豊かさを左右します。この講義では、日本企業の現状と課題について、金融の持つ力や中小企業のポテンシャルにスポットをあてながら考えます。	後藤 康雄	3号館1階 311教室
	文芸学部 英文学科	英語の詩はどう読むの？ Langston Hughesの詩を例に	読んだだけではよくわからない英語の詩も、音やリズム、詩の手法、そして詩人とその時代に目を向けると詩人の伝えたいメッセージや作品としての魅力が発見できます。この講義では、20世紀に活躍したアフリカ系アメリカ人詩人Langston Hughesの詩とその読み方を紹介し、人種、階級、そして夢をテーマにした作品の奥深さを探ります。	松川 祐子	3号館1階 312教室
	法学部 法律学科	刑事裁判と裁判員制度	国民の中から選ばれた裁判員が刑事裁判に参加する「裁判員制度」が2009年に始まって以降、刑事司法への社会的な関心が一層高まっています。この講義では、刑事手続の流れ、すなわち、犯罪が発生した場合に犯人と疑われる人に対しどのような手続を経て有罪・無罪を判定するかを紹介し、その中で裁判員が果たす役割について考察します。	足立 友子	3号館2階 321教室
	経済学部 経営学科	ワクワク経営学・オモシロ マーケティング入門	「会社」が人のように生き、成長し、他と戦う、それを理解して実践するのが経営学やマーケティングです。皆さんの将来と最も関係の深い「会社」の活動を学ぶ経営学や、そこでの開発や流通、サービスなどを学ぶ「マーケティング」、そのワクワク感やオモシロさを是非体感してください！	神田 範明	3号館2階 322教室
12:20 13:00	文芸学部 芸術学科	映画の演出とは何か？：監督 やスタッフが撮影現場でして いること	映画監督やスタッフは撮影現場で何をしているのでしょうか？映画の演出とは一体どういうものなのでしょうか？このミニ講義では、相米慎二監督『台風クラブ』（1985年、第一回東京国際映画祭ヤングシネマ部門グランプリ）のいくつかの場面を具体的に分析しつつ、こうした点を分かりやすくお話します。	木村 建哉	3号館1階 311教室
	文芸学部 ヨーロッパ文化学科	他国の文化を理解すると は？	他の国の文化を理解する際になぜ妙な誤解が生じるのか？どの文化にも共通する善悪の決まりのようなものはあるのか、ないのか？－このような異文化理解の問題を、ドイツ映画における日本のイメージやドイツ国内の時事問題を取り上げながら哲学的に考えてみます。	陶 久 明日香	3号館1階 312教室
	経済学部 経済学科	クラウドファンディングが切り 拓く！日本の金融の未来	私のゼミナールでは、情報技術(IT)の進化がもたらす金融システムの革新について学生と学んでいます。最近では、ネットを活用した新しい資金集めの手法である「クラウドファンディング」の可能性を検証しました。今年のミニ講義では、この研究成果について、ゼミ生と一緒に高校生にわかりやすいスタイルでプレゼンテーションします。	中田 真佐男	3号館2階 322教室
12:50 13:30	文芸学部 国文学科	音声の日本語学－イントネ ーションを中心に－	私たちは日本語を音声として表現することもできるし、文字として表現することもできます。ですので、両者は一見等価であるように感じられます。しかし音声表現には、文字表現には認められないさまざまな独自の性質が備わっており、決して等価とは言えません。音声表現の特性について、わかりやすくお話ししましょう。	竹内 史郎	3号館2階 321教室
13:40 14:20	文芸学部 マスコミュニケーション 学科	納涼・メディア論	マスコミというと新聞、テレビ、ラジオ、インターネットなどが思い浮かびます。でもこれらはみな技術の名前ですよね。こういった技術は、「メディア」とも呼ばれます。この講義では、少し涼しげな話しをてがかりにしながら、「メディア」とは何か歴史的に考えていきたいと思えます。	新倉 貴仁	3号館2階 322教室
14:10 14:50	社会イノベーション学部 心理社会学科	「見る」ことの心理学－認知 心理学入門	私たちはふだん、身の回りの世界をそのまま体験しているように思っていますが、実際には、ものの大きさや長さといった単純なものでも正しく知覚していません。この講義では、実際にさまざまな事例を体験しながら、私達がどのように世界を見ているかを考えます。	青山 征彦	3号館1階 311教室
	文芸学部 文化史学科	外来の神を迎えるのは在来 神か？	フィリピン・セブ市では、スペイン出自のサントニーニョの祭祀がさかんである。その祭祀において、到来したサントニーニョを迎えるのも、聖母マリアというキリスト教の聖人であるが、しばしば土地の神として語られている。外来宗教であるキリスト教が換骨奪胎されて土地の信念として受容される様態から、文化の伝承性と創造性の両面について考えたい。	川田 牧人	3号館1階 312教室